

相続税の修正申告書

税務署長 殿

年 月 日 提出

相続開始年月日 年 月 日

○フリガナは、必ず記入してください。

フリガナ		各 人 の 合 計			財 産 を 取 得 し た 人		
氏 名		(被相続人)			⑧		
生 年 月 日		年 月 日 (年齢 歳)			年 月 日 (年齢 歳)		
住 所 (電 話 番 号)					〒 (- -)		
被相続人との続柄	職 業						
取 得 原 因		該当する取得原因を○で囲みます。			相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与		
※ 整 理 番 号		□□□□□□□□			□□□□□□□□		
区 分		① 修正前の課税額	② 修正申告額	③ 修正する額 (②-①)	④ 修正前の課税額	⑤ 修正申告額	⑥ 修正する額 (⑤-④)
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表③)	①	円	円	円	円	円
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)	②					
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)	③					
	純資産価額(①+②-③) (赤字のときは0)	④					
	純資産価額に加算される 暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤					
	課税価格(④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥	A	,000	A	,000	,000
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び遺産に係る基礎控除額	B	(人) 0,000,000	(人) 0,000,000	(人) 0,000,000	左の欄には、第2表の②欄の⑥の人数及び⑦の金額を記入します。	
	相続税の総額	⑦	00	00	00	左の欄には、第2表の⑧欄の金額を記入します。	
	一般の場合	⑧	1.00	1.00	/		
	租税特別措置法第70条の6第2項の規定の適用を受ける場合	⑩					
	相続税額の2割加算が行われる場合の加算金額 (第4表1⑤)	⑪		円	円	円	円
各人の納付・還付税額の計算	暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表2⑬)	⑫					
	配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)	⑬					
	未成年者控除額 (第6表1②、③又は④)	⑭					
	障害者控除額 (第6表2②、③又は④)	⑮					
	相次相続控除額 (第7表⑬又は⑭)	⑯					
	外国税額控除額 (第8表1⑧)	⑰					
	計	⑱					
	差引税額 (⑱+⑲-⑳)又は(⑳+⑲-㉑) (赤字のときは0)	⑲					
	相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表⑧)	㉒	00	00	00	00	00
	小計(⑲-㉒) (黒字のときは100円未満切捨て)	㉓	00	00	00	00	00
納税猶予税額 (第8表2⑦)	㉔	00	00	00	00	00	
申告納税額	㉕	00	00	00	00	00	
申告期限までに納付すべき税額 還付される額	㉖	△	△	00	△	00	

第1表 (平成二十年分以降用)

税務署受付印

○この申告書は黒ボールペンで記入してください。

※の項目は記入する必要はありません。

※ 税務署整理欄
通 信 日 付 印
年 月 日
・ ・
(確認)者印
集計票(徴収)カード

(注) ②欄の金額が赤字となる場合は、②欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、②欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表⑨)があるときの②欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。

※税務署整理欄	年分	名簿番号	検算印		
---------	----	------	-----	--	--

作成税理士の事務所所在地・署名押印・電話番号

⑧

□税理士法第30条の書面提出有 □税理士法第33条の2の書面提出有